

南風原町

都市計画マスタープラン

City planning master plan of Haebaru

2022 ▶ 2040

令和4年3月

南風原町都市計画マスタープランの策定にあたり

本町は、平成 11 年(1999 年)に南風原町都市マスタープランを策定、平成 16 年(2004 年)に一部見直しを行い、まちづくりを進めてきました。那覇空港自動車道南風原北インターチェンジ及び南インターチェンジや国道 507 号バイパスの整備、津嘉山北地区土地区画整理事業の進捗などにより市街化が進行し、令和 2 年(2020 年)の国勢調査では人口が 4 万人を超えるなど、まちは発展を続けています。



一方で、町域の約 4 割が市街化調整区域であることから産業系の土地利用の誘導が思うようにできないなどの課題も生じています。本町においても、将来的には人口減少が想定されており、活力ある持続可能なまちづくりを進めていくためには、産業の誘導が重要になると考えています。本都市計画マスタープランでは、この課題に対応するため、土地利用や市街地形成のあり方についても検討を行いました。

あわせて、三大森の保全と活用、琉球絃や南風原花織に代表される伝統産業と観光産業の連携、災害に強いまち、全ての人々に優しいまちなど、幅広い視点からまちづくりの方針について検討を行いました。これらの本都市計画マスタープランで示す方針は、経済、社会及び環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す「持続可能な開発目標 SDGs(Sustainable Development Goals)」にも重なるものと考えられます。

まちの将来像「ともにつくる黄金南風の平和郷」の実現に向け、本都市計画マスタープランに基づいた施策の展開により、活力ある、住民が誇れるまちづくりを進めていきたいと思えます。

最後に、本都市計画マスタープランの策定にあたり、アンケート調査やワークショップにおいて貴重なご意見やご提案をいただきました住民の皆様をはじめ、南風原町都市基本計画策定審議会の委員の皆様、ご協力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

令和 4 年 3 月 南風原町長 赤嶺正之

南風原町都市計画マスタープラン

目次

第1章 都市計画マスタープランとは

1. 背景及び目的	2
2. 都市計画マスタープランの役割	2
3. 都市計画マスタープランの位置づけ	3
4. 都市計画マスタープランの構成	4
5. 計画対象区域	5
6. 都市計画マスタープランの経緯	6

第2章 現状と課題

1. 人口	10
2. 産業の動向	17
3. 土地利用	23
4. 都市施設・市街地整備等	33
5. まちづくりの主要な課題	45

第3章 まちづくりの目標

1. 将来像	54
2. 目標年次	54
3. 将来人口	54
4. まちづくりの目標	57

第4章 将来都市構造

1. 将来都市構造の設定	60
--------------	----

第5章 全体構想

1. 土地利用の方針	66
2. 市街地形成の方針	69
3. 交通体系の方針	72
4. 緑と水の方針	75
5. 景観形成の方針	79
6. 防災まちづくりの方針	82
7. 福祉まちづくりの方針	85

第6章 地域別構想

1. 地域区分の考え方	88
2. 北部地域（新川、大名、宮城）	90
3. 中央北地域（兼城、宮平、与那覇）	100
4. 中央南地域（津嘉山、本部、照屋、喜屋武）	110
5. 南部地域（山川、神里）	120

第7章 まちづくりの実現に向けて

1. 協働によるまちづくりの推進	130
2. 新たな技術活用や官民連携の推進	131
3. 個別計画によるまちづくりの展開	131
4. 都市計画マスタープランの進行管理	131

参考資料

1. 用語集	134
2. 用途地域の概要	138
3. 策定経緯	141
4. 策定体制	142
5. 住民参加の状況	144